

山梨県水産技術センター・研究課題事前評価表

山梨県水産技術センター課題評価委員会(2011.9.27)

試験・研究課題名:寒沢モニタリング調査

大課題名:漁場の実態把握

小課題名:個体群の維持機構の解明

細目課題:寒沢モニタリング調査

担当者名:研究員 坪井 潤一

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	在来魚の保全において必要性は高く、引き続き行って欲しい。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	従来からの継続調査である。
3 目的・内容の整合性 妥当性	5 / 5	目的、内容ともに妥当である。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	集団の有効サイズについても検討して頂きたい。
5 成果の期待度	5 / 5	保全、管理への成果の活用に期待する。
総合評価	4.6 / 5	在来魚の絶滅を阻止するため、さらなる努力をお願いする。

「注」 評価点の目安

評価 点数	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

渓流域の在来のイワナやヤマメは、危機的な状況にある。  
在来魚の絶滅阻止のため、更なる努力をしていきたい。